

小児の眼・眼窩腫瘍

集学的治療の実施状況 (:実施/×:未実施)

診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (:実施可/×:実施不可) 昨年の実績 (あり/なし) 平成25年9月1日～平成26年8月31日									各診療科における当該疾患 の治療の特色・患者さんへの メッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が 掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門として いる医師数	手術	冷凍凝固術	光凝固術	化学療法	眼動注	放射線療法			ページの見出しとアドレス トップページ以外を2つまで記載してください アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容					
								体外照射	IMRT	小線源治療		治療内容		治療実績	医師の専門分野		
1 眼科	11	11	状況				×	×	×	×	×	眼・眼窩腫瘍に対する放射線治療は二次がん発生率が高いため、当センターでは行っておりません	見出し		掲載なし	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし		アドレス	http://www.mch.pref.osaka.jp/hospital/department/gank			
2 血液・腫瘍科	8	8	状況	×	×	×		×	×	×	×		見出し	難治性小児がんに対する造血幹細胞移植	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし			アドレス	http://www.mch.pref.osaka.jp/hospital/department/ketu			
3			状況										見出し				
			実績										アドレス				
4			状況										見出し				
			実績										アドレス				
5			状況										見出し				
			実績										アドレス				
治療実績のある再発、難治症例の疾患名 平成25年9月1日～平成26年8月31日			なし														